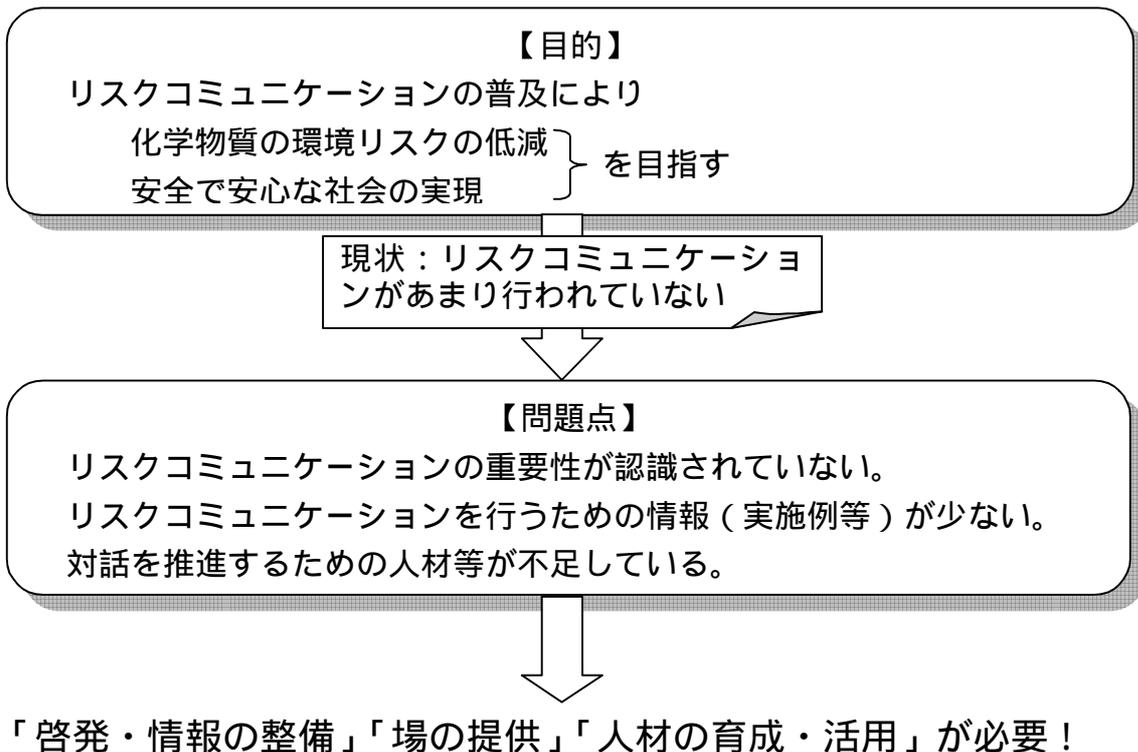


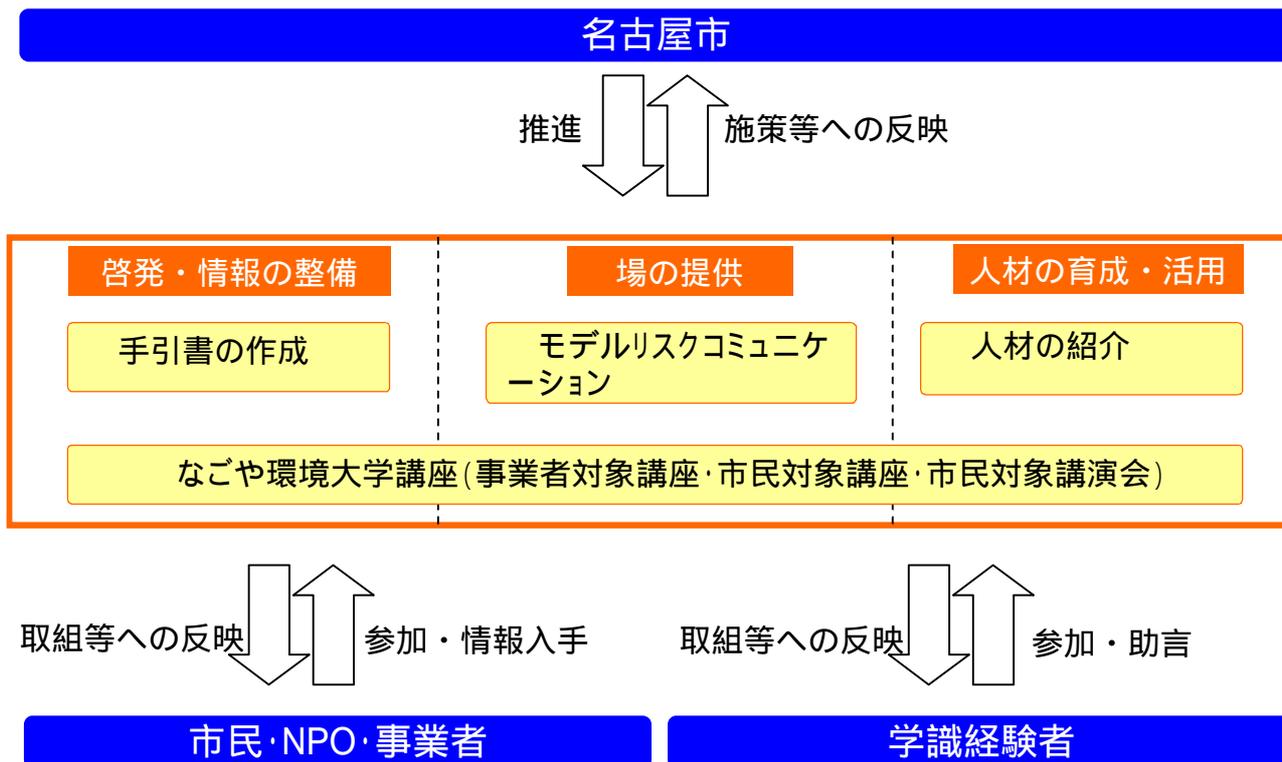
# リスクコミュニケーションの普及について（案）

## 1 普及の目的と問題点



## 2 当面の普及策

### (1) 全体像



## (2) 具体策

### ア 手引書の作成

#### 【事業者向け】

項目	内容
名称	なごや発「化学物質のリスクコミュニケーションのすすめ」(仮)
目的	・リスクコミュニケーションの普及啓発 ・リスクコミュニケーションを行う際に参考になる具体的なマニュアル
内容	・リスクコミュニケーションの基礎知識 ・具体的なリスクコミュニケーションの方法(参加者の選定、資料作成など)
普及方法	・冊子の作成配付(PRTR対象事業者に送付、講座等で配付・説明) ・市公式ウェブサイトで公開
作成時期	平成20年3月頃

#### 【市民向け】

項目	内容
名称	なごや発「化学物質のリスクコミュニケーションのすすめ」市民版(仮)
目的	・リスクコミュニケーションの普及啓発 ・近隣の工場とコミュニケーションを行う際に参考になるマニュアル
内容	・リスクコミュニケーションの基礎知識 ・具体的なリスクコミュニケーションの方法
作成時期	平成20年度以降
その他	別途、化学物質一般のパンフレットを作成

### イ モデルリスクコミュニケーション

項目	内容	
企画・運営	事業者、名古屋市	
目的	・事業者がリスクコミュニケーションを行う際のモデルとする。 ・リスクコミュニケーションを行う場の提供と支援を行う。	
内容	工場見学、環境への取組み報告、意見交換など	
参加者	意見交換 参加者	事業者、市民(地域住民)、行政、ファシリテーター、 インタプリター
	傍聴者	なごや環境大学講座受講者、一般公募
開催回数	年2回程度	
その他	・ファシリテーター、インタプリター等の人材の育成や経験の場としても活用	

## ウ 人材の紹介

リスクコミュニケーションを行いたい事業者等に人材の紹介を行う。

人材	選定方法等
ファシリテーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションにおけるファシリテーターの経験のある方の情報を収集</li> <li>・ファシリテーションの技術を持つ方に、リスクコミュニケーションを経験する機会を提供</li> </ul>
インタープリター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質アドバイザー、環境カウンセラー制度を活用</li> <li>・簡単な工場見学会等であれば、名古屋市職員</li> </ul>

## エ なごや環境大学講座

### 【事業者対象講座】

項目	内容
企画・運営	名古屋市
受講対象	化学物質を取扱っている事業者
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションの重要性の認識</li> <li>・事業者内リスクコミュニケーション担当者の育成</li> </ul>
講師	学識経験者、化学物質アドバイザー、名古屋市など
内容の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質の適正管理（PRTR 制度等）について</li> <li>・環境コンプライアンスについて</li> <li>・「リスクコミュニケーションのすすめ」を読む</li> <li>・リスクコミュニケーションの実例について</li> </ul>
開催回数	3 回程度

### 【市民対象講座】

項目	内容
企画・運営	懇談会市民・NPO 委員、名古屋市、事業者
受講対象	化学物質に関する環境活動を行っている又は行いたい市民・NPO
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションの重要性の認識</li> <li>・対話を推進する、又は市民の啓発をリードする人材の育成</li> </ul>
講師	学識経験者、懇談会市民・NPO 委員、名古屋市、事業者
内容の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションを知ろう</li> <li>・リスクコミュニケーションを行いたい事業者（工場）はどこ？</li> <li>・「リスクコミュニケーションのすすめ」を読んでみよう</li> <li>・環境報告書を読んでみよう</li> <li>・工場の化学物質管理の現場を見に行こう</li> </ul>
開催回数	4 回程度

【市民対象講演会】

項目	内容
企画・運営	名古屋市
受講対象	一般市民
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質のリスクに対する理解と関心の向上</li> <li>・リスクコミュニケーションの重要性の認識</li> </ul>
講師	学識経験者、化学物質アドバイザー、名古屋市など
内容の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な化学物質によるリスクについて</li> <li>・リスクコミュニケーションとは？</li> <li>・PRTR データを読み解いてみよう</li> </ul>

3 数年後の普及策

なごや環境大学講座での情報の提供や人材の育成などは、将来的に推進組織に発展することも想定して、進めていくこととする。

